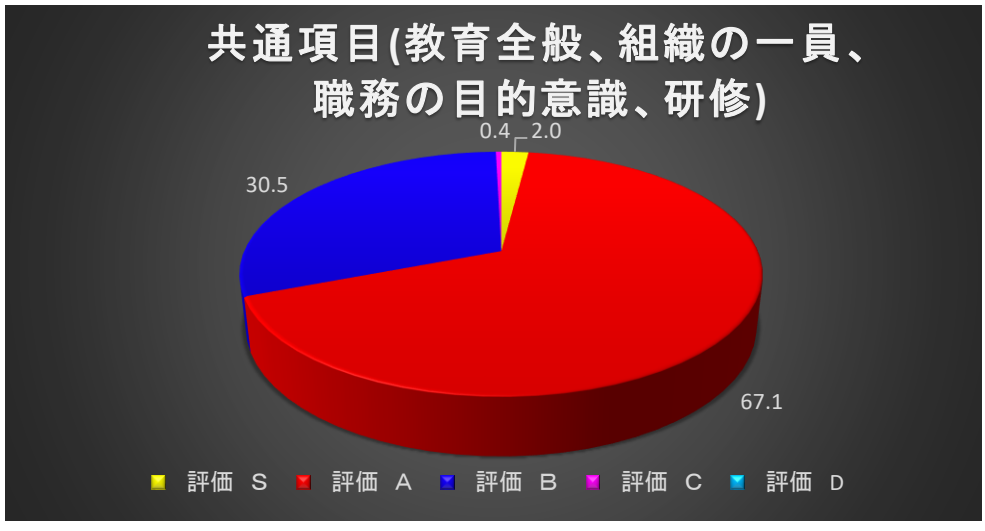
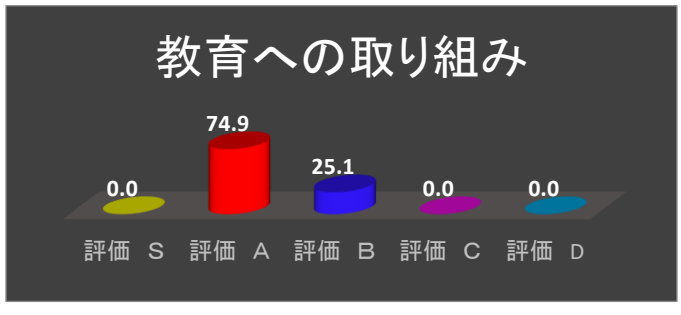
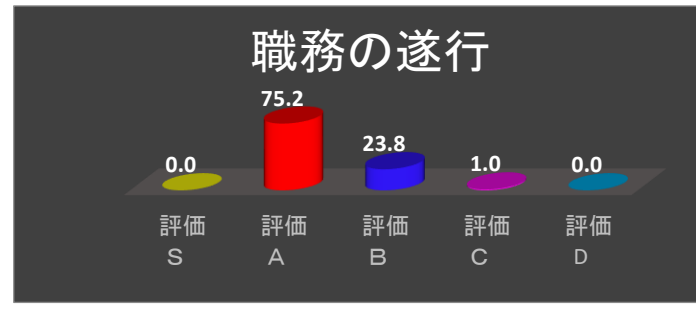
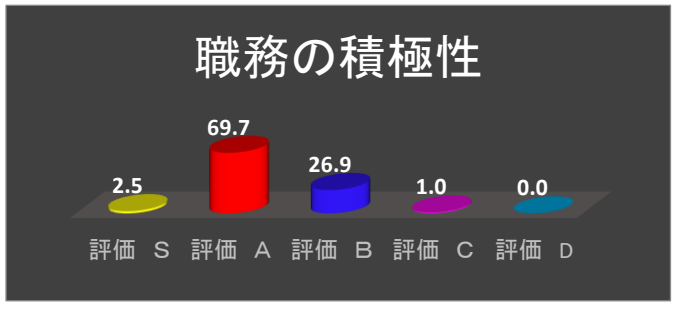


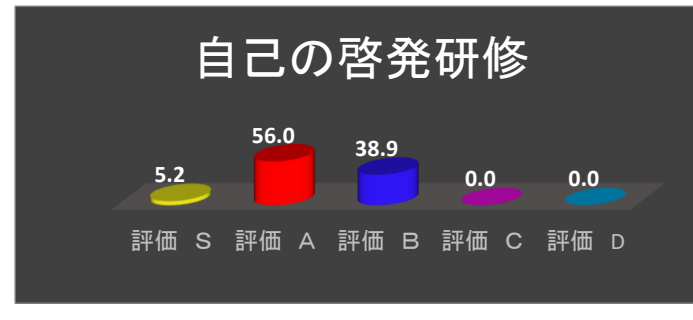
評価基準

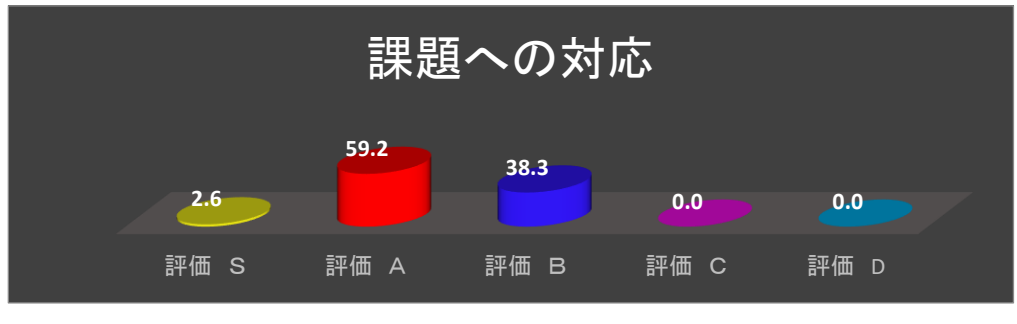
職務遂行上必要とされる水準を
S:大幅に上回っている。
A:上回っている。
B:ほぼ達成している。
C:達成されていない。
D:大幅に下回っている。





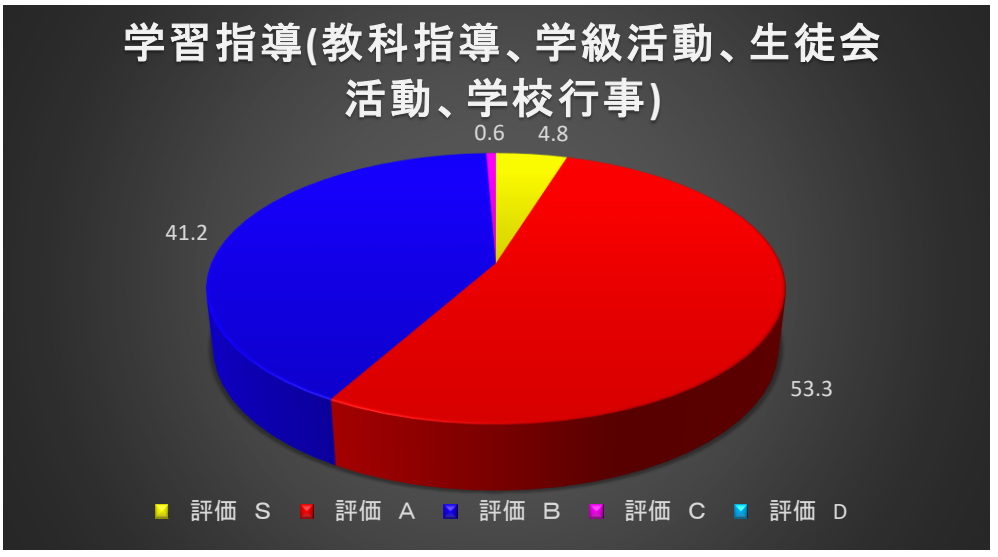






結果についての分析と改善策

教育全般、組織の一員、職務の目的意識に関して教職員全体の約70%がS・Aの高い評価をつけている。年末に行われる教員研修ではテーマを決め教師としての職務について高い意識改革をもって臨んでいる。その他の研修として毎朝の校長が資料を使い、ショート研修を実施してきた。教員に求められるものとして、教育基本法にもあるように、生徒を一人の人間として「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民」に育てるという国民の願いに答えなければならない。そして、私たち教員の職務は、自らの問題意識と課題に向かう創意と工夫の活動を全うしなければならない。



評価基準

職務遂行上必要とされる水準を

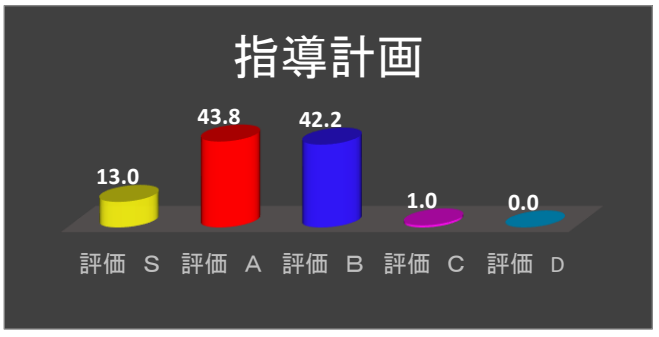
S:大幅に上回っている。

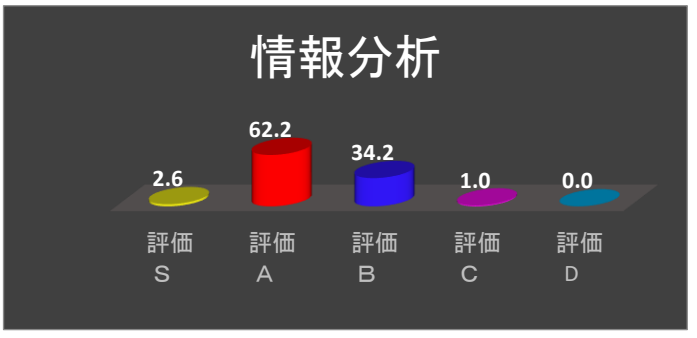
A:上回っている。

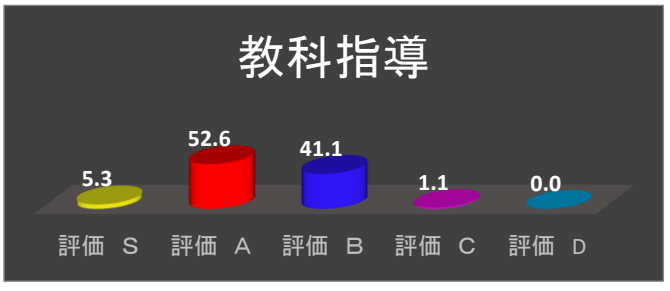
B:ほぼ達成している。

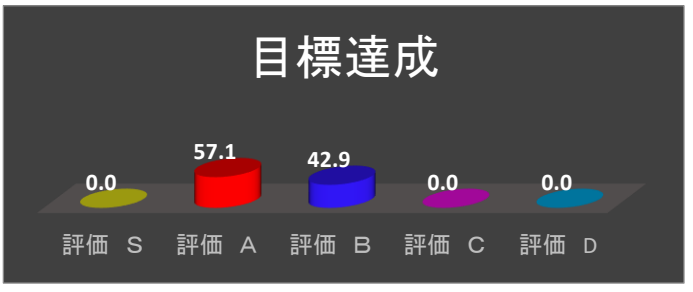
C:達成されていない。

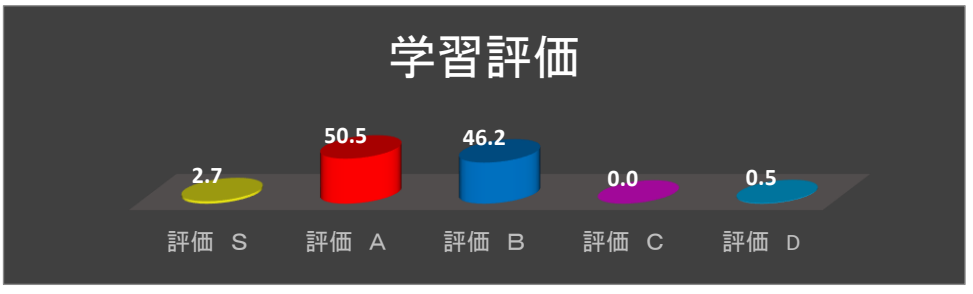
D:大幅に下回っている。





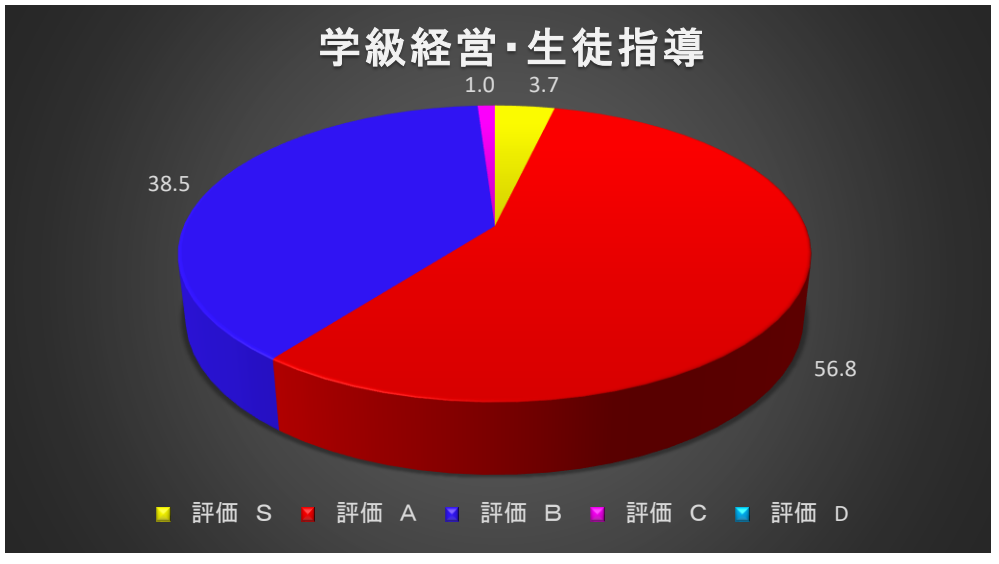






結果についての分析と改善策

学習指導において、教員全体の約60%がS・Aの高い評価をつけている。今年度もコロナ禍の中、感染症対策を取りながら授業を展開した。また、ICTを活用（スタディーサプリの活用）するなど様々な工夫をして授業等に取り組んでいた。行事については規模を縮小するなどしながらほぼ予定通り実施できた。次年度からの対策として、今まで以上にスタディーサプリの活用などICTを駆使した授業を展開したい。感染防止対策を取りながら、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように工夫された授業を展開することで、さらなる授業力の向上及び授業満足度の向上を図りたい。



評価基準

職務遂行上必要とされる水準を

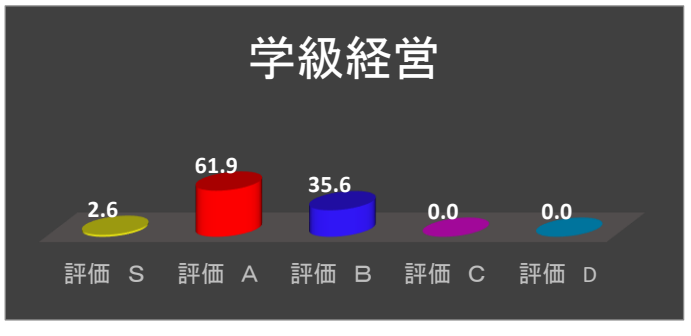
S:大幅に上回っている。

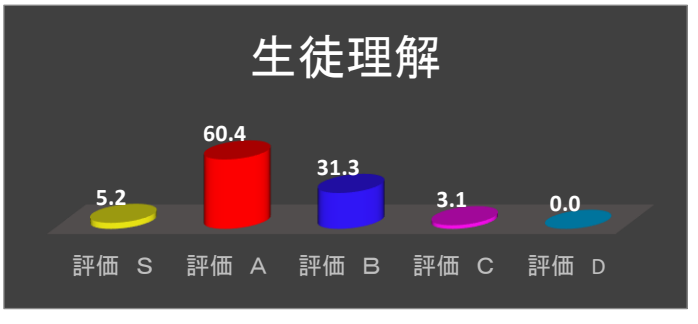
A:上回っている。

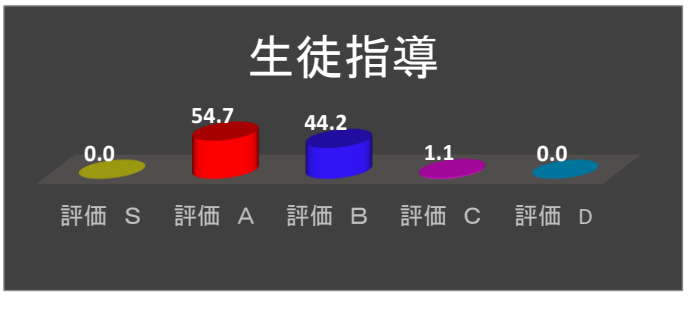
B:ほぼ達成している。

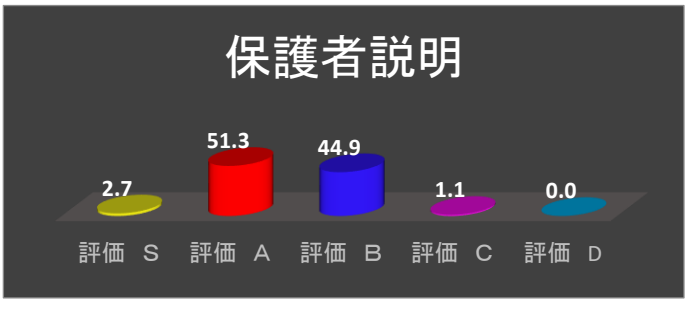
C:達成されていない。

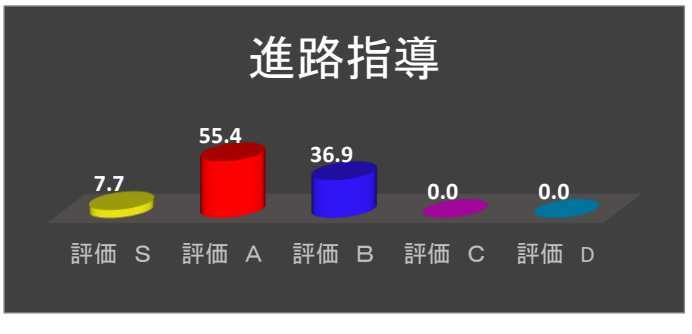
D:大幅に下回っている。

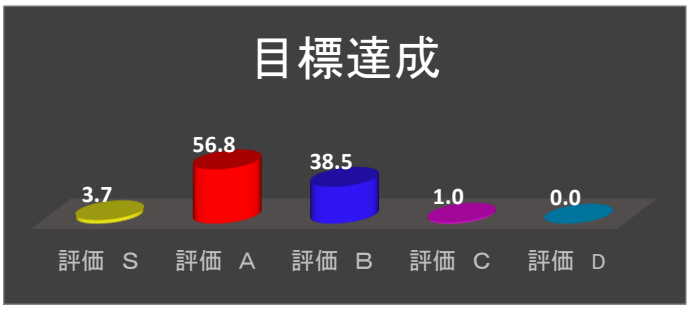






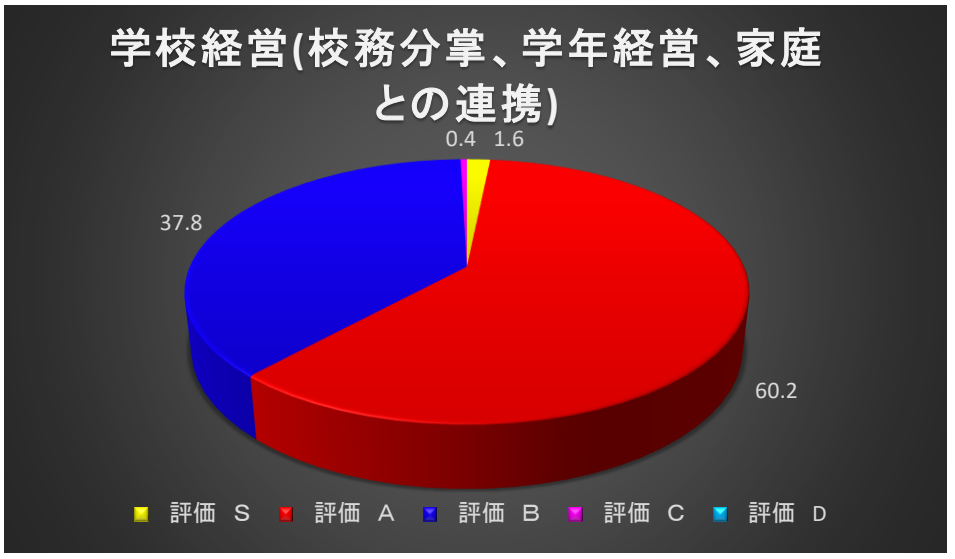






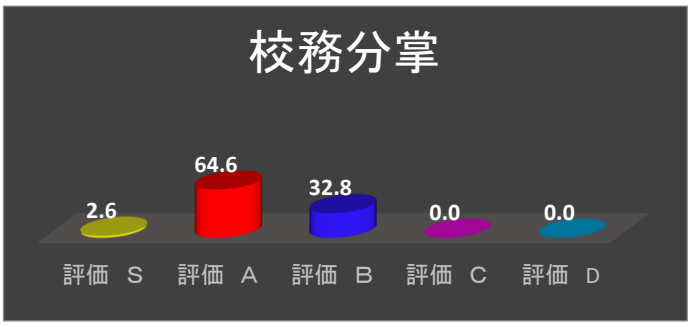
結果についての分析と改善策

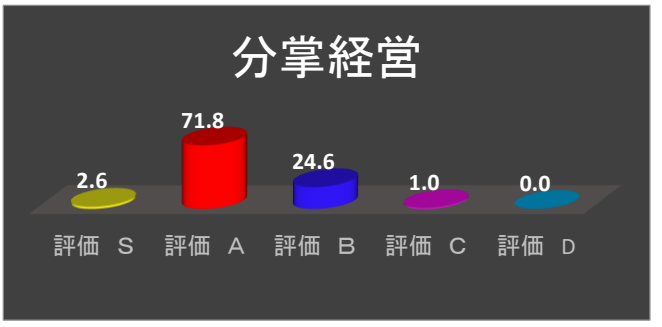
学級経営・生徒指導において、教員全体の約60%がS・Aの高い評価をつけている。年3回のいじめアンケートを実施し、実態把握と未然防止に努めた。校内では挨拶ができる生徒が多く、活力が感じられる。少数特定の生徒の遅刻が少数あった。多くの生徒は基本的生活習慣が身についており、身だしなみについてもおおむね良好であった。自転車及び自動車との接触事故が数件発生した。事故内容はいずれも軽微であった。対策として、生徒の意識改革として講習会の開催や全教職員の共通理解を図り、家庭・地域・関係諸機関との連携に努めることが重要である。

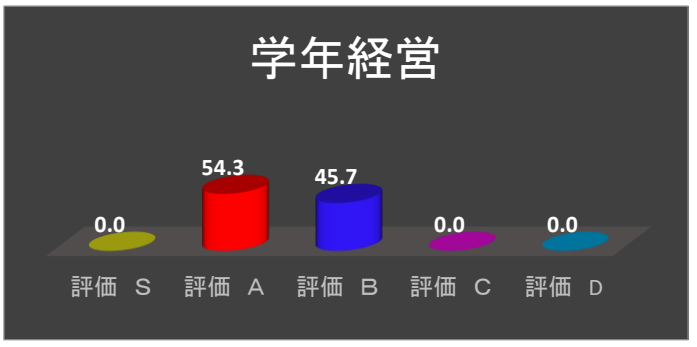


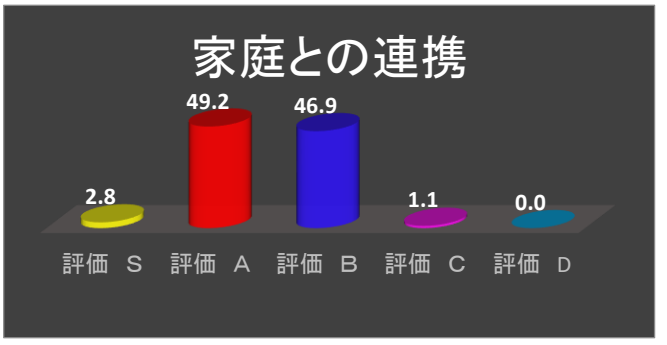
評価基準

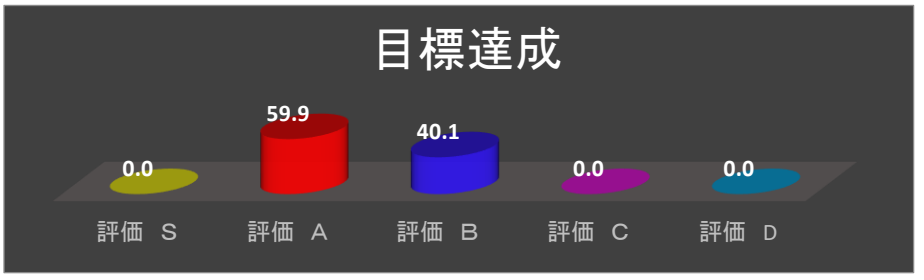
職務遂行上必要とされる水準を
S:大幅に上回っている。
A:上回っている。
B:ほぼ達成している。
C:達成されていない。
D:大幅に下回っている。











結果についての分析と改善策

学校経営において、教員全体の約65%がS･Aの高い評価をつけている。生徒一人ひとりの能力、特性に合わせた学習指導をし、各種検定の資格取得に向け、担任、学年付、部活動顧問と一緒に指導している。ホームページやマチコミをこまめに更新し、生徒の学校での活動の様子をできるだけ早期に保護者に公表し、より深い信頼関係の構築を築いている。

学校の発展には、教職員の熱心な指導と保護者の協力が不可欠になる。学校の評価を高めるためにも、保護者からの学校に対する信頼度や満足度を高めていく。教育力を高め開かれた学校とするために、今まで以上に中高一貫教育事業の推進、高大接続連携の展開を積極的に進めていく。